

ひらくびづかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'83 5月号

教育普及活動の紹介 ⑬

巡回展

待望の旭北公民館の開館を記念して、現在、新装のロビーにて、「万田熊ノ台横穴展」が開催されています。

博物館では、これまで館内の特別展示室を使った特別展を実施してきましたが、最近は、各分野での収集資料がかなり整理され、しかも各地域別の資料がまとまって来たことから、各地域の公民館を使った、館外特別展を企画するようになりました。

昨年2月には、南原公民館と共に「南原発掘遺跡展」、中原公民館では「中原上宿発掘遺跡展」を開催しました。

何んらかの方法で地域の方々に資料を見ていたとき、地域から集められた資料をその地域に還元するのも博物館活動のひとつのあり方ではないかと考えています・・・。

写真（上から）

：南原発掘遺跡展
南原公民館にて

：中原上宿発掘遺跡展
中原公民館にて

：万田熊ノ台横穴展
旭北公民館にて



5月の行事

1	日	プラネタリウム
2	月	(休館日)
3	火	(憲法記念日・休館日)
4	水	
5	木	(こどもの日・休館日)
6	金	
7	土	プラネタリウム、古文書講読会
8	日	プラネタリウム、自然観察会「相模川河口の干潟」
9	月	(休館日)
10	火	
11	水	
12	木	デッサン教室
13	金	デッサン教室
14	土	プラネタリウム、みんなで調べよう 「石仏調査」、土曜観察会「高麗山 の季節ごよみ」
15	日	プラネタリウム
16	月	(休館日)
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	プラネタリウム、古文書講読会
22	日	プラネタリウム、地層観察会「柱状 図をつける」
23	月	(休館日)
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	星を見る会「土星を見よう」
28	土	プラネタリウム、みんなで調べよう 「石仏調査」、土曜観察会「高麗山 の季節ごよみ」
29	日	プラネタリウム
30	月	(休館日)
31	火	(月末休館日)

※ 5、6月のプラネタリウムは、「南半球
の星」をテーマに投影します。



あなたも参加してみませんか~

●特別展「近世文書資料展」

市域西部地区の、金目、土沢、旭、金田地区を対象とした、特徴ある資料を展示する。

会期 5月10日(火)~5月22日(日)

場所 博物館・特別展示室(入場無料)

●星を見る会「土星を見よう」

土星は、輪をもつ惑星であることが、ガリレオの時代から知られています。その姿を、望遠鏡を使って観察します。

日時 5月27日(金) 18時~20時

場所 博物館・科学教室

参加自由。当日、科学教室にお集り下さい。



●ツバメの巣について情報を求めています!

博物館では、1980年~82年にわたって、市内に作られたツバメの巣の分布を調べてきましたが、今年度は、それをさらにくわしく調べるため、市民の皆様の御協力をお願いしたいと思います。今年、ツバメが出入りしている巣の所在を御存知の方は、下記の点を書いて、ハガキでお知らせ下さい。

- ①巣のある場所(なるべくくわしく。たとえば「中原3丁目--〇〇商店の軒」)
- ②気がついた月日
- ③巣のようす(親鳥が出入りしていた、ひながいたなど)
- ④報告者の住所、氏名、電話番号(御協力いただいた方には、ツバメの分布をまとめたプリントをお送りします。)

●寄贈品コーナー展示替えのお知らせ

二見利節氏遺作7点の紹介をいたします。

期間 5月1日(日)~6月9日(木)

●休館のお知らせ

全館殺虫消毒のため、6月10日(金)から20日(月)まで、休館します。この期間は、博物館へは立ち入りできませんので、ご注意を。

フィールドノートより

(10)

ミカン山のタンボボ調査

4月20日(水) はれ

午前10時15分、国府津駅を出発、ホームの下をくぐって北側に出ると、ミカン山がすぐそこまでせまっている。道沿いの草の生えた土手には点々とタンボボの株があり、今を盛りと、やまとき色の花が咲きほこっていた。緑に塗ったキャンバスに黄色い絵具をぱっぱっと投げ散らしたような、鮮やかな原色の光景だ。このタンボボは一株残らず日本在来のカントウタンボボであった。

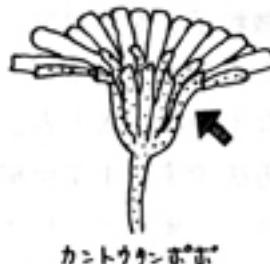
在来種と、ヨーロッパから入ってきた外来種のセイヨウタンボボ・アカミタンボボの分布を調べ、各地域の自然の豊かさを知ろうというタンボボ調査に今年は博物館として取り組んでいる。『みんなで調べよう』の呼びかけで、調査に参加を希望した人は市外も含め50名をこえ、平塚市だけでなく秦野、中井、大磯、二宮などの調査も行えることになった。ついでに大磯丘陵全体のようすもつかんでしまいたいと、小田原市東部の丘陵地帯にやってきたわけである。

タンボボ調査は、地形図に示された500mごとの調査地点に行き、そこで種類と環境を記録するのが主な作業である。最初に国府津駅の北300mの-2L-8地点で調査票を書き、丘を登って次の-2L-4地点に向かう。このあたりは全山がミカン畠になっており、縦横に農道が走っているので調査はやりやすい。しかし機械的に500mおきに打たれた調査地点は、山頂あり中腹ありで、登ったり下ったりがなかなか大変だ。

新幹線の弁天山トンネルの上を通り、標高246mの高山の方へ向かう。雑木林の木々も一斉に新芽をふき、緑色のもやがかかって見える。一種類一種類で芽ぶきの色が微妙に違い、目に楽しい季節である。沢の方からは、シシシシ---とヤブサメの声が聞えてきた。今年初めて聞く声だ。ピックリーと鳴きながらサシバも上空を飛ぶ。そうした夏鳥が見られる一方、ツグミやシメなど、冬鳥の中にもまだ残っている鳥がいる。谷沿いの水田からは、クリリコロコロとシュレーグルアオ

ガエルの合唱も聞えてきた。

高山の東側の中腹には、広い自動車道路が登ってきており、そこまでは、すべてカントウタンボボであったが、その道路の所にはやはりセイヨウタンボボが入りこんでいた。しかし、道ばたにはカントウタンボボもあり、勢力拮抗といった状況だった。



カントウタンボボ



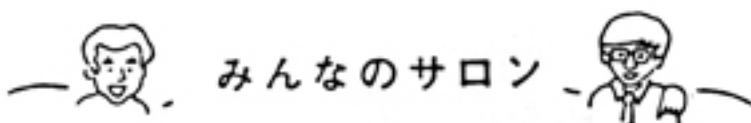
セイヨウタンボボ
マキミタンボボ

いったん山を下り、沼代の部落に入る。ケヤキに大きなヤドリギがたくさんついている。小田原厚木道路をこす陸橋の所まで行くと、そこにはアカミタンボボが一株生えていた。平塚市では駅の周辺はほとんどアカミタンボボなのだが、ここで見たのが、この日唯一のアカミタンボボだった。標高70mまで下ると、200mまで登り返すのにちょっと足が重い。あまりゆっくり歩いていたのでは予定がこなせないから、歩幅を小さく、足の回転を早くしてピッチをあげる。一汗かいて登りついた六本松には芭蕉の句碑が建てられていた。

予定した調査を終え、曾我別所のバス通りへ降りたのは午後3時半だった。5時間の調査で、調べられた地点は17、山を歩いたにしては、かなり能率があがったと思う。17の調査地点のうち、雑木林でタンボボのなかった所が2か所、外来種が見られたのが2か所、他の13か所は全てミカン畠でカントウタンボボだけが見られた。ミカン畠は除草剤をよく使うので、タンボボがない所もあるのではと予想していたが、どこへ行ってもタンボボの群生が見られたのは嬉しい誤算だった。大磯丘陵はいまだカントウタンボボ健在なりといったところだ。春を満喫した、行程14kmの調査行であった。



(浜口学芸員)



太陽黒点と気候の関連

太陽黒点の行動と地球の気候とは、かなり深い相関関係があると考えられています。

太陽活動は、主として電磁波（X線や光など）とプラズマ（電気を帯びた微粒子）を惑星間空間に吹きだし、地球に影響をあたえます。その太陽の活動の目安として一般的なものは、太陽表面に見られる黒点の増減を見る方法です。17世紀初頭にイタリアの天文学者、ガリレオ・ガリレイにより発見され、その後、黒点相対数と呼ぶ指標が作られてから、200年以上も記録され続けています。気象観測の記録と、黒点の記録が比較されるようになって、相関が見いだされてきたわけです。

それによると、日本でも宝暦5年（1755年）以来、226年間に顕著な異常気象年が22回あり、うち10回は黒点相対数の下降期にあたり、7回は極小期、2回は極小直後と極大期、1回は極大期直前に見られました。

異常気象年22回のうち17回までが、黒点相対数の下降期から極小期にかけて発生しています。

現在の黒点相対数は極小期にむけて下降しており、ここ数年は太陽活動が静かな状態が続きます。昨年の長梅雨や大雨、初冬の暖冬なども影響があったと考えられましょう。太平洋側に面した平塚の場合、これから秋にかけて異常気象の影響を強く受けます。今年も異常気象を警戒してゆく必要がありましょう。



"はくぶつかん" いつもお世話です
有難うございます。
1月1日送・メールにてお問い合わせ
お詫びいたします。
お車でいらっしゃる場合は、車内でも
お車のドアノブに付けてお車の運転
お手伝いください。

〒253
平塚市浅間町12-41
くわべひがし

* 博物館では、毎月発行している「はくぶつかん」
をご希望の方に郵送する便をはかってあります。
郵送を希望される方は、60円切手12枚
(1年分)を博物館宛にお送り下さい。

〒254
平塚市浅間町12-41
平塚市博物館

受入寄贈資料

- 3. 5 木工用具 平塚市立野町24-7
柳町政文様
- 〃 ヨコップリ 平塚市入野333
小川正作様
- 4. 28 片山哲氏書 平塚市八千代町6-3
杉山薰様(松原公民館から)

御協力を深く感謝いたします。

「はくぶつかん」をもっとおもしろくて、楽しいものにするために、あなたのご意見、ご感想をぜひお聞かせ下さい。

(あて先) 〒254 平塚市浅間町12-41

☎ 0463(33)5111

平塚市博物館